

2023Japan National Team Report ”監督”



報告者氏名	岩波 将輝
大会名	2023 OPTMIST World Championship
開催地	スペイン コスタ・ブラバ
大会期間	2023/6/15~6/25

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国 艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	6/13 00 15 羽田空港発 ~6/13 05 45 ドバイ着~08 15 ドバイ発~13 25 バルセロナ着 エミレーツ航空利用
旅行代理店	HIS
渡航費用	約24万円/人
エントリー料	※ 実際に支払った通貨で記入して下さい 選手: €825 三役: €875
一人当たりの宿泊費用	エントリー料に含む
その他食料費	現地の地元スーパーへの買い出しあり(車にて15分~20分) €80 / 人
チャーター料金	€450/艇
大会本部の対応	大会会場は町中からは離れたビーチに面する大きなキャンプ場でした。バンガローなど宿泊棟とキャンプ施設混合のリゾートといったところです。過去の大会のようにハーバー施設近くのホテル宿泊施設といった環境ではなく、各国がキャンプ施設内またはバンガローを使うスタイルなのだと開催前には判断できました。 宿泊は大きなキャンプ場内のバンガロー宿泊棟であり、事前に当方から連絡して、大会オフィスからは比較的近い場所にリクエストを出すことができました。ただ、オフィス、ミーティング、浜、出艇申告など、やや遠い場所をいったりきたりすることも多く、レンタルバイクが重宝しました。必要時に浜への波、風の観察も日中約1時間おきには行き、情報収集に努めました 出艇する浜での艇置き場について、国別の配置がEURO圏を中心にセイル置き場に対して近い側であり、日本、南米、アフリカは一番遠い場所に配置されており、EURO圏の選手とはあまり国同士の交流がとりにくい環境 大会撮影の中心からは常に外れてしまうといった環境となったことはとても残念でした。タイ、シンガポール、香港は近い側の場所に配置がありました。 リポートを出すハーバーは大会会場から車で15~20分南側への位置にありました 事前に日本チームは、レンタカーが必要と判断し、空港から車を手配しました NORIにシャトルバスの記載で送迎と記載のあるものの、時間設定はなく、現実、期間中にそのバスが動いている気配は全くありませんでした。風待ちも長く、各チーム現地からのポートパークへの移動時刻はばらばらの判断で、バスの時間を合わせるなどほぼ不可能な状況でした ヨーロッパ圏から参加チームは、キャンプ場ということで、読み通り自前の車(キャンプ可能な車も含む)で行くのが前提となっていた感じがします このレンタカーがなかった場合、現地でのローカルでの車手配はかなり困難だったと感じます。 大会中に、高潮や波除けのないビーチから、出艇できない日が3日間つづきました。大会を開催する場所として果たして正しい判断だったかと言えば、疑問が残りました。判断の甘さといった点に、参加者の大半が振り回された印象が強く残りました ・上記に起因して、チームレース開催の日程は省かれ、上位16チーム(個人戦に基づく成績、日本は国別32位)のみが、半日の日程で催行されました。 周年記念の大会とのことではありましたが、16チーム以外の約30か国は不満がこの大会となったことは否めません。
チームリーダーミーティングの様子、内容	スペイン訛りの英語であったが、ヒアリングは問題なくできました。NORIに記載されている観覧艇については、最初のミーティング時に当方から質問したところ、用意がまったく無いと言い切ったのには驚きました。また、回答として浜からみえるとの説明があり 質問は終わりました NOR記載も体裁上のリップサービスのような感じでした。現実、当たり前ですが、ビーチ出艇で、大きな観覧艇が着岸できる場所は一切ないので、観覧艇は入れない状況でした
選手達の様子で	時差、疲れによる体調不良。幸い特に体調不良の選手はでませんでした

気をつけたこと	食事面では、適宜、食欲の低下がないように、日本食を含めて同行の母を中心に栄養管理をすることができました。残念ですが、選手側での自立した時間厳守はなかなかできず、行動、生活の管理をすることが多くありました。コロナ明けが5月であったこと、6月開催でしたので、共同生活、自立といった事前の調整がチームとしてできなかったことの影響は否めません。
食事はどうでしたか	食事面では、適宜、食欲の低下がないように、日本食を含めて同行の母を中心に栄養管理をすることができました。今回の大会では、海上での昼食支給（ランチパック）はなかったため、握り飯を用意して、海上へ持参することができました。
セキュリティなどで気をつけたことはありましたか。	会場はキャンプ場であり、バンガローは国ごとに割り当てられ、あまり宿舎においてのトラブル事例はなかったように感じました。もちろん、外出時は錠前をかけての外出を基本としました。 ・レンタカーについては、現地の交通事情や補償については、よく検討されたほうがよいと思います。今回はカントリーエリアでの運転で、マニュアル車で左ハンドルという条件以外はあまり複雑な交通事情はありませんでした。
荷物に関して工夫した点	セイル、スパー類の持参については、手荷物を重さで各人の計算のうえ、選手の重量が空いているところをうまく割り振ったりして工夫することができました。重量計測の道具は必要でした。
日本との通信状況、手段	田舎のキャンプ場のため、WiFiがあるものの通信は不安定であり、持参したWiFiが重宝する状況となりました。シムのみでは、浜などでは通信の対応がほぼ不可能な状況でした。
他国チームとの国際交流の実施	選手間ではそれなりに交流を持つことができたと思います。日本のバンガローには国旗を掲示し、合宿時の作成したフラッグも掲げました。日本チームとハチマキ交換をしたい国の選手は、頻繁に立ち寄ってくれていました。また、個人で連絡先交換をしていた選手もいました。
持参してよかった食品、医療品等	レンタカー小型車 45人乗り、パルセロナ空港から） コメ、炊飯器、ふりかけ、調味料、カレー、そうめん、乾麺など 現地では生鮮品、肉、ドリンクなど、車で1分程度の街中のスーパーでほぼ毎日買い出しをおこないました。キャンプ場内にもスーパーがあるものの、割高で、必需品は町中への買い出しが基本となりました。
次回参加者へアドバイス	ワールドチームでの練習合宿、チームレース合宿を行いました。 ここ数年、現地のホテルなどでの割り振りが一般的でしたが、今回は、カントリーサイドの巨大なキャンプ場での開催とあって、選手にとってはユニークで記憶に残る大会でした。ただ、事前の情報は、直観や地形で判断するしかなく、現地で車が必要であるかどうかは、安全面も含めてよくよく検討されてください。気候が暑いこともあり、自転車や徒歩での移動は体力消耗が予想以上に著しいことも、車を手配した理由の一つです。
JODAへの要望	・いつも大変お世話になっております。NT合宿でのご指導、ご案内、チームレース指導等ありがとうございました。 日本チームは島国でもあり、海外レースの経験不足により、成果を出しにくいとは感じます。良い結果を出そうと考えるとプレ大会への参加や、欧州等でのレース参加などで経験が積み重なるとよいと感じます。特に、チャーターボートのセットアップをはじめ、スタート後のフリートの混戦で競り合ったシチュエーションでのスピードやタクティクスのコツをつかんでおくことは大切に感じました。 ・海外経験を積むという視点では、NT次点の選手にJODA選手権のみならず、近隣のアジア圏、タイ、豪州等で開催されるナショナル選手権等に派遣、参加するような機会があると、育成につながるものと思います。 例えば、タイチームはワールド参加の選手が、そのままアジア・オセアニア選手権にも5人出て、チームレースを含めてタイトルを狙うように計画をされており、経験が積めるようなシステムになっています。成果を出すという視点からは見習うほうがよいかもしれません。ただ、より多くの選手に海外選手権を経験してもらうという視点であれば、現状のスタイルがよいと思います。 ・円安もすみ、家庭の海外遠征費用の負担を減らす方をジュニアスポーツとしては検討する時期かと思います。例えば、コロナ明けとなった現状では、JODA主導で今後、親の同行が前提ではなく、選手とコーチ陣をチーム派遣する。選手が自立して参加するスタイル、特に中学生も一案と思います。
その他	大会期間中はOP艇を置くエリアは、例年通りに入場者が選手とチームリーダー、コーチまでと規定されていることから、この点では試合期間中には配慮をする必要がありました。 今回の大会では、期間中にほぼ軽風から中風くらいまでだったため、スウェーデン、イタリア、アメリカの軽量選手の活躍が目立ちました。来年開催国の南米アルゼンチン(Mal del Plata)は大きな選手の参加が多く、聞けばかなり吹く強風コンディションでいつも乗っているとのことでした。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会